

大槌の子

大槌町立大槌学園 園報No.17 令和3年12月6日発行



～前期児童 下校時避難訓練～

11月29日(月)雨天延期になっていました下校時避難訓練を実施しました。今回は、前期児童のみで行いました。

今回の訓練のねらいは、通学路途中にある避難場所を覚えることです。この場所で地震がきて津波警報が発令になった場合、どこに避難するのが適切か確認しながら下校しました。今回は、時間の関係で地区避難所への避難行動訓練は行いませんでしたが、まずは避難場所をしっかりと覚えることが大事です。今後も避難場所を確認しながら集団下校する機会を設けていきたいと思います。

なお、後期生徒は実際の訓練を行いませんでしたが、事前に後期地区集会を開き、地区毎に避難場所を確認する機会を設けました。さすが後期生徒は、話を聞いただけで、避難場所の位置をイメージできたようです。

訓練に先立ち、学園の職員が各地区の避難場所を実際に歩いて確認しました。前期児童が登って避難するには急すぎて危険を感じる場所などもあり、今後町の防災対策課と情報を共有していきたいと考えております。



【町方方面・江岸寺で】
通学路途中にある江岸寺裏山から、中央公民館へ続く避難路を確認する町方方面の子どもたち

ふるさと科 5年「鮭の学習」

5年生がふるさと科「鮭の学習」で鮭フライ調理に挑戦しました。地域ボランティアの皆様のご協力を得ながら、鮭の切り身を下ごしらえしたり、タルタルソースを作ったりと、子ども達は役割を分担しながら意欲的に活動していました。生の鮭をカリッと揚げるために二度揚げされた鮭フライは、とても美味しかったです。ボランティアの方々からは、「手際がいい」と子ども達のことを褒めていただきました。

鮭解体をしてくださった越田鮮魚店様、調理のお世話をして下さった地域ボランティアの皆様、ありがとうございました。

5年生は『鮭の学習』を通して、ふるさと大槌の特産品である鮭の一生の様子から、命の大切さや鮭の仕事に携わる人たちの思いや願いについて考えていきます。



11月の金メダルノート



- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1-1 佐々木 碧彩 | 1-2 山田 大琥 | |
| 2-1 大久 雅玖 | 2-2 藤原 大 | |
| 3-1 中村 鈴蘭 | 3-2 森下 唯乃 | 3-3 岩崎 夏己 |
| 4-1 吉田 桜來 | 4-2 越田 心愛 | |
| 5-1 今井 白 | 5-2 駒林 陽夏 | 5-3 古館 大和 |
| 6-1 長岡 倭丸 | 6-2 菊池 涼介 | |



- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 7年国語 阿部 夢羽(7-2) | 7年社会 得平 空(7-2) | 7年数学 三浦 陽愛(7-2) |
| 7年理科 臼沢 美優(7-1) | 7年英語 高木 遼平(7-1) | |
| 8年国語 大澤 葉那(8-1) | 8年社会 岩間 凜子(8-1) | 8年数学 黒沢 悠太(8-2) |
| 8年理科 藤原 大陽(8-2) | 8年英語 阿部 莉子(8-1) | |
| 9年国語 飛田 冴英(9-3) | 9年社会 小嶋 翔月(9-2) | 9年数学 藤社 雅乃(9-1) |
| 9年理科 熊谷 百笑(9-2) | 9年英語 高木 楓(9-3) | |

表彰された皆さん

大阪府富田林市藤沢台小学校 とオンライン交流～5年1組～

震災当時、津波被害に遭った大槌町の米を引き取り支援して下さった大阪府富田林市。10年たった今でも両市町は【復興米】を通して繋がっています。今回、富田林市藤沢台小学校からオンラインでの交流の依頼がありました。そこで本学園の5年1組が交流しました。

両校の子ども達は、学校や町の自慢を紹介し合いました。学園の子ども達が漫才を披露すると、笑いの本場大阪の子ども達からは「おもしろい」と歓声が上がっていました。

和気藹々とした両校の交流となりました。震災から10年、次世代を担う子ども達同士の繋がりに新たな可能性を感じました。



おめでとうございます!

- ☆第38回岩手県海の子絵画展 入賞 6年 小松ひまり
- ☆第73回全国植樹祭ポスター原画 及び
令和4年度用国土緑化運動育樹ポスター
原画岩手県コンクール 佳作 4年 澤館 朋花
- ☆第67回青少年読書感想文岩手県コンクール . . . 入賞 8年 岩間 凜子
「平和な世界」